いの広場

9月届出分

お誕生おめでとう (敬称略)

(出生児) (保護者) (公民館) 聖 下久保 庛 徳 田原 H14.9. 2生まれ 膧 村 之 上

H14.9. 9生まれ

陽 Ш 新 田 健

H14.9.1性まれ

おくやみ申し上げます (敬称略)

(届出人) (死亡者) (公民館) テル子 谷 Ш フ ク 96 前 高 橋 ムツヱ 65 ツグ子 谷 Ш 二反田 夫 勝 東善 寺 幸 66 Ш 平 85 登美子 訪 下 外 園 純 信 子 東湯田原 62 高 下 和 典 東湯田原 85

善意の灯火(9月分

香典返し

一般寄付

11月 3日

(敬称略)

(寄付者) (公民館) テル子(故 谷 フク) 外 子(故 純) 東湯田原 ツグ子(故 ムツエ) 町 高 二反田 (故 幸夫)

南日本新聞祁答院南日会

宅 (在)

相良医院(内児)

市比野温泉病院(内科)樋脇町 38-0037 宮之城病院(精神科) 48 53-0180 10⊟ 医師会病院(内外児) 53-0326 木脇医院(内科)東郷町 42-0141 17日 立志病院(内科) 55-9119 MKリハビリテーション病院(内科) 53-1704

黒木診療所(内科)祁答院町 55-0056

52-3355 24日 稲津病院(外科)

1日 12F 小緑内科(内科) 52-1676

副田クリニック(内外児)入来町 44-5777

世 数 لح

9月30日現在住民基本台帳

(三) 世帯数 1,839 (前月比

5,027人 (前月比 -5人)

男 (前月比 -3人) 2,364人 (前月比 -2人) 2.663人

流となってしまいました。 掲載しましたが、 で見えなくなっていた岩にぶ 川の中央あたりで舟底が洪水 で漕ぎ渡ろうとしましたが、 なって、上流で大雨だったの ヨの4人で、浦川内の川内川 近所の男2人と父源之介、 て詳しく分かりました。 でしょうか、急に増水して激 に出かけましたが、 を挟んだ向いの山に馬草刈り 4人は、馬草を川舟に積ん 明治2年旧暦7月26日に、 前 の読みなおしによっ ツヨ女の碑について 古文書(巻 帰る時に

主や役所から多くの表彰文 (その墓石が残されています。 地に、神名をもらって葬られ、 下手の川で見つかりました。 飛びこんで助けようとしまし が身のことも考えず、 たが、ついに父娘とも溺れて かかっていたので、ツヨは我 た心からだとして、当時の藩 2人は、城内の岩川岡の墓 まいました。 このことは、親を大切にし ツヨは木場瀬で、 父は小路 激流に

シリーズ 58

かるさと

つかって、

転覆してしまいま

前

53-0160

巻物) ですが、7巻とも中央公民館 の少し上流にあるそうです。 川底となり、表彰碑のある所 れています。その石は、 られていますが、 に預けられています。 これらのことを書いた巻物 ツヨが一旦たどり着いた岩 大俣の植村宗光氏の所有 当時「堕淚石」と名付け が届けられてい 涙石と呼ば 、ます。 今は

> 孝女植村ツ ヨ女の碑

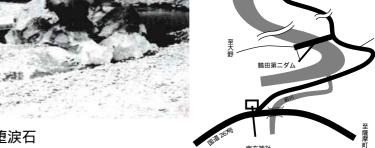
した。

男2人は岸にたどり着き

りましたが、父は川下で溺れ ツヨは岩にしがみついて助か

のダム手前に建てられていま の県道鶴田大口線、 りましたが、二転して、 表彰碑は、法城寺近くにあ 山神集落 現 在





堕淚石

